

備前市事務事業評価表

事務事業名	診療事業		コード	担当課係	医事係
			02-02-07-02	担当者	岡正千丈
事業実施期間	平成17年4月1日～平成18年3月31日		電話	0869-64-3385	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	健やかで生き生きしたまちづくり			
	小項目	病院事業			
	施策	備前病院			

事業について	
目的	模範的な診療を行い、国民健康保険事業を円滑に実施するとともに、備前市における保健施設として公衆衛生・在宅福祉の向上及び増進に寄与する。
対象 (誰のために)	備前市国民健康保険の被保険者及び健康保険、船員保険及び日雇労働者健康保険の被保険者及び同被扶養者、労働災害補償保険法及び老人保健法の規定により給付を受けるもの、生活保護法の規程により医療扶助を受ける者並びに法令により組織する共済組合の組合員及びその被扶養者並びに他の市町村国民健康保険の被扶養者等
内容	健康診断及び健康相談、療養の指導及び相談、診察、薬剤又は治療材料の投与及び支給、処置・手術及びその他の治療、病院への収容等の診療を行う。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など	回数など	回数など
入院患者数	30,602 人		
外来患者数	55,448 人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源		
	直接事業費	665,520	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等		
	人件費	714,434	受益者負担		人件費		受益者負担		
	市債		市債		市債		市債		
合計	1,379,954	一般財源等	1,379,954	合計	0	一般財源等	0	合計	0

必要人員	98.00	人		人
結果指標①	結果指標名	入院患者数		
	結果指標量	30,602		
	単位	人		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	794,376,044	円	円
	単位当たりコスト①	25,958	円	円
結果指標②	結果指標名	外来患者数		
	結果指標量	55,448		
	単位	人		
	対前年比	—	0.00%	
	事業費	501,820,040	円	円
	単位当たりコスト②	9,050	円	円

事業の成果		
成果指標名	入院・外来患者延数の推移	式又は説明
		入院=100床×稼働率×診療日数(92%) (365日) 外来=外来患者数/1日×診療日数(290人) (244日)
成果指標量	17年度	
	入院=91.1 外来=78.4	
到達目標値	入院=33,580人 外来=70,760人	到達目標年度
		毎年

(平成17年度事業)

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	地域住民の医療ニーズ、地域における医療供給体制等を的確に把握することにより、地域における当病院の役割を明確にし、診療科目、病床規模等について見直しを行うとともに、必要に応じ市立病院自体の再編についても検討することが必要。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	コストの効率化	医療サービスの向上、医師の確保、経営健全化・効率化、経営基盤の強化の観点から医療機関相互の連携、機能分担を推進し、医療提供体制の見直しが必要。
	手段の最適化	
	職場の効率化	
有効性の評価	目的達成度	病院に対する意見の収集は、アンケートにより行っているが、意見に対する回答がされていない。また、ボランティア参加に関する一般市民へのPRが十分できていない。
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価	経営の基本として常に企業の経済性を発揮するとともに、公共の福祉を増進するように運営しなければならないが、入院・外来患者延数とも目標値を下回り17年度は赤字決算となっている。今後、診療体制及び内容の充実を図りながら、受診者の増加と経費節減に努め、健全経営にあたる必要がある。	評価区分 <A~E> C
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	33,580人	結果指標量②	68,600人
目標値	結果指標量		
	100.0		

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	備前・日生・吉永3病院の連携を図る。	毎年	患者1人当たりのコスト削減
有効性	病院へのご意見に対する早期回答及びボランティア団体等の参画の拡大。	18年度	受診者等の満足度の向上を図ることによる、成果指標の増。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。